

第七十三回 昭和十三年度一般會計歲出ノ財源ニ特別委員會會議事速記録第三號
帝國議會 貴族院 充ツル爲公債發行ニ關スル法律案

昭和十三年二月二十四日(木曜日)午前十時十八分開會

○委員長(公爵山縣有道君) ソレデハ只今カラ會議ヲ開キマス、前回ニ引續キマシテ御質疑ノアル方ノ御發言ヲ願ヒタイト思ヒマス

○子爵大河内輝耕君 私ハ大藏省ノ政府委員ニ二三點伺ヒタイノデアリマスガ、此ノ造幣局ノ仕事ニナリマスガ、是ハドウ云フ事ヲオヤリニナルノデスカ、大體伺ヒタイト思ヒマス、尤モ此ノ前ノ御説明デ廳舎ノ新營ヲヤルトカ、或ハ東京デ金銀地金ノ證明トカ精鍊トカ云フコトヲヤルト云フヤウナコトニハ伺ッテ居リマスガ、廳舎ハ僅カナガラモ無イ譯デハナシ、別ニ新營ヲ此ノ際必要トスル理由モナイヤウデゴザイマスガ、或ハ今迄トヤリ方ヲ變ヘテ擴張サレル御見込ナンデゴザイマセウカ、ソレトモ今迄ニ、只腐朽シタカラ、其腐朽シタ儘ノヲ新シイノニスルノダト云フコトナンデセウカ、ソレカラ尙又東京デ色々地金ノ證明トカ或ハ精鍊ノコトモヤラナケレバナラナイト云フコトニナリマシタノハ、ドウ云フ譯ナンデアリマセウカ、大體伺ヒタイト思ヒ

マス

○政府委員(太田正孝君) 造幣局ノ廳舎其ノ他ノ新營ニ關スル問題ハ、只今大河内子爵ノ御示シニナリマシタ通り、建物トシテハ現在元復興局ノ廳舎ヲ、一部ヲ使ッテ居リマスガ、御案内ノ如ク震災直後ノ應急的ニ其ノ方ニ使ッテゴザイマシテ、今御言葉ニモアリマシタ通り大變腐朽致シマシテ、破損ノ箇所ガ多ク且手狭ダト云フコトガ主ナ原因デアリマス、而モ仕事ト致シマシテ、産金法ニ依ッテ金銀地金ノ品位ノ證明ハ、一般ニ今迄ノ産金政策上、民間ノ便宜ヲ圖ッテ行クト云フ意味ニ於キマシテ、今回ハ其ノ仕事ヲ加ヘルコトニナリマシタノデ、而モソレハ例ヘバ熔解室其ノ他ノ如キ今ノ建物デハイケマセヌノデ、鐵筋「コンクリート」ノ建物ヲ以テシナケレバナラヌト云フ關係ガアリマシタノデ、今回斯ウ云フ經費ヲ以テスルコトニナッタ次第デゴザイマス

○子爵大河内輝耕君 大藏省ノ新廳舎ガ出來ルヤウデマスガ、新廳舎ガ出來タラ何レ東京ノ出張所モ大藏省ノ新廳舎ノ中ニ入ルコトニナリマセウカ、サウシマスト一時的設備ト見テ宜シウゴザイマスガ

○政府委員(太田正孝君) 只今ノ計畫ニ於キマシテハ、今度出來マス大藏省ノ新廳舎ノ中ニハ、造幣局關係ノモノハ入ラナイ計畫ニナッテ居リマス

○子爵大河内輝耕君 是ハ何處ヘ御置キニナリマスカ

○政府委員(太田正孝君) 場所ノ點ハマダ未定デゴザイマスガ、豫算ノ中デ千五百坪ノ敷地買収ヲ見込シテ居ルノデアリマス、然ルベキ處ヲメツケテ、其處ヘ行キタイト考ヘテ居リマス

○子爵大河内輝耕君 是ハ餘リ大藏省ト離レテモ困リマセウシ、日本銀行トモ離レテモ困ルデゴザイマセウガ、ドウ云フコトニナリマセウカ、何方日本銀行ノ中ニ出來マスカ、サウ云フコトデナク、ソシナ事ニ關係ナク建テルノデアリマセウカ

○政府委員(太田正孝君) 仰セノ通りサウ云フ點モ考慮シナケレバナラヌノデマスガ、然ルベキ地域ヲ求メルニナカク、苦シイノデゴザイマシテ、此ノ近クト云フコトハ、或ハムヅカシイカトモ考ヘテ居リマス、色々ノ點ヲ考ヘマシテ、今申サレマシタヤウナ點モ考ヘテ、地域ヲ選定致シタイト考ヘ

テ居リマス

○子爵大河内輝耕君 此ノ産金法ニ依ッテ色々調査ヲスルト云フコトモ、必ズシモ東京デヤラナクテモ宜イヤウニ思ヒマスガ、矢張り東京デナケレバナラナイ理由ガアルノデアリマセウカ

○政府委員(太田正孝君) 詰リ、精鍊及品位ノ證明ト云フヤウナコトハ、矢張り東京ト大阪ガ一番多イノデゴザイマス關係デ、東京ニ設ケタイト考ヘテ居リマス

○子爵大河内輝耕君 大阪ダケデヤ、ソレハ不便デゴザイマセウカ、其ノ點ヲ明カニ致シタイト思ヒマス

○政府委員(太田正孝君) 一々其ノ物ヲ持ッテ大阪ニ行カナケレバナラヌノデ、非常ニサウ云フ方ノ要求モ多イノデゴザイマスカラ、ソレデ東京ノ方ヲ求メタ次第デゴザイマス

○子爵大河内輝耕君 其ノ仕事ノ分量ハドシナモンデセウカ、東京ト大阪ト分ケテ……ソレデ是ハ色々ナコトガアリマスガ、一番主ナ仕事ハドウ云フ……地金ノ證明ガ一番主ナ仕事デアリマスガ、精鍊事業迄ヤルトナルト、ナカク容易ナコトデハナイ

ト思ヒマスガ、ドンナ……

○政府委員(關原忠三君) 大阪ノ方デハ、

今迄ハ全國ノ品位證明、精鍊ヲ致シテ居ルノデゴザイマスガ、御承知ノヤウニ産金法ガ制定サレマシテ、昨年デ申シマスト約四十八「トン」ノ金ガ生産サレテ政府ガ買上ゲテ居ル状態デゴザイマス、ソレニ付キマシテ、東日本ノ分ニ付キマシテハ、大阪迄持ッテ参リマシテ造幣局デ是等ノ仕事ヲ致シマスト云フコトハ、東京ノ方カラ見マシテ不便デゴザイマスノデ、幸ニ東京出張所ガゴザイマスノデ、之ニ精鍊費ヲ支出致シマシテ、

仕事ノ一部ヲ致シマシテ、是等ノ仕事ヲ東京ノ方デモヤリタイト、斯ウ云フヤウニ考ヘテ居リマス

○子爵大河内輝耕君 私ノ伺ッタノハ規模ノ大小ヲ伺ッタノデアリマス、斯ウ云フ風ニヤリマスト、東京ガ主ニナルノカ、或ハ大阪ガ主デ東京ハ一部ノ仕事ヲスルノカ、或ハ仕事ヲスルニシテモ主ニドンナ仕事ヲヤルノカ、金銀地金ノ證明或ハ精鍊ト云フコトモアリマスガ、ドンナ仕事ヲ主ニスルノカ、若シ精鍊事業ヲヤルト随分容易ノコトデヤナイ、千坪位ノモノデハ間ニ合ハナイト思ヒマスガ、其ノ邊ハ如何ナモノデアリマセウ

○政府委員(關原忠三君) 金銀ノ精鍊ヲ致シマシテ、品位ヲ證明致シマスコトハ、設備ガナク出來ルノデアリマス、品位ノ證明ヲ致シマスコトハ、東京デヤリマシテモ、大體三分ノ一程度ト云フモノヲコチラノ方デヤルノデアリマシテ、三分ノ二以上ノモノハ矢張り從來通り大阪ノ方デヤルコトニナルト思ヒマス

○子爵大河内輝耕君 軍ノ需要充足ノ爲ノ會計法ノ例外ヲ伺フノデアリマスガ、「勅令ノ定ムル所ニ依リ」ト云フノハ、ドンナ勅令ヲオ決メニナリマスカ

○政府委員(谷口恒二君) 大河内子爵ニ御答ヘ致シマス、御承知ノ通り只今兵器彈藥ノ類等ニ付キマシテハ前金拂ガ出來ルノデアリマスガ、其ノ他ニ付テハ前金拂ハ出來ナイ、此ノ法律ノ制定ニ依リマシテ新タニ加ヘマスルモノニ付キマシテハ、被服、ソレカラ糧秣、ソレカラ兵器彈藥ノ材料品、サウ云フモノニ付キマシテモ前金拂ガ出來ルヤウニ勅令ヲ制定シタイト思ッテ居リマス

○子爵大河内輝耕君 サウシマスト、軍需品全部ニ互ルト、大體解シテ宜シウゴザイマスカ

○政府委員(谷口恒二君) 軍ノ需要デゴザイマスカラ、軍需品全部ニ互リマシテ、只今申シマシタヤウナ品種ニ付キマシテハ、前金拂ノ出來ルヤウニ致シタイト考ヘテ居リマス

○子爵大河内輝耕君 是ハ前金拂ヲシテ取レナクナッテシマフヤウナコトハアリマセスカ、何カ確實ナ擔保デモ御取リニナル御見込デアリマスカ

○政府委員(谷口恒二君) 只今ノ御尋ノ點ニ付キマシテハ、十分不都合ノ事件ノ起ラナイヤウニ、注意致シマシテ實行ヲスルト云フコトニ考ヘテ居リマス

○子爵大河内輝耕君 サウスルト、擔保ヲ取ラナイノデアリマスカ

○政府委員(谷口恒二君) 別ニ擔保ノ制度ト云フコトヲ考ヘテ居リマセウ

○子爵大河内輝耕君 今迄デモ往々ヤッテ居リマセウカ、今迄モ其ノ爲ニ困ッタヤウナ例ハアリマスマイカ、斯ウ云フコトガ能クアル、仕事ノ方ヲ頼マレテ前金拂ヲ貰ッテ置イテ、外ニ儲カル仕事ガアルトソッチノ方ヲヤルト云フコトハ、ドウモ免レナイコトノヤウニ思フノデアリマス、無論見ス／＼儲カルモノヲ止サシテコッチヲヤレト云フコトハ言ヒニクイノデ黙ッテシマフヤウナコトガアリマス、ソレガ時期ガ遅レル位ナラ宜シウゴザイマスガ、出來ナクナッテシマフト非常ニ困ルノデアリマス、サウ云フヤウナ例ハ今迄アリマスマイカ知ラ……

○政府委員(谷口恒二君) 是ハ軍ノ需要ニ付テ註文等ノ詳シイ状況等ニ付キマシテハ、或ハ陸海軍當局ノ御説明ヲ煩シマス方ガ宜シイカト思フノデアリマスガ、私ノ承知致シテ居ル範圍内ニ於キマシテハ、大體陸海軍ノ需要ノ註文ヲ受ケルヤウナ工場ト云フモノハ自ラ定マル處ガゴザイマスノデ、只今仰セノヤウナ事態ハ、只今迄餘リ聞キ及ンダコトハゴザイマセウ

○子爵大河内輝耕君 外國カラ買フ物ニ付テハ、是ハ適用ニナリマセウカ、ドウデゴザイマスカ

○政府委員(谷口恒二君) 外國カラノ場合ニ於キマシテモ、何ト申シマスカ理論上ハ是ハ適用出來ルモノト承知致シテ居リマス

○子爵大河内輝耕君 事實ハドウ云フ風ニオヤリニナルカ、外國拂迄之ヲ適用スルコトニナルト、ソレハ内地ノ工場ハ決ッテ居ルカラ今ノヤウナ不都合モナイデセウケレドモ、外國相手デハ十分注意ハ拂ハレタモノノ前金拂ノ取逃ガト云フコトモ、ナイトモ限ラナイノデアリマスシ、之ヲ制裁スル途モナイシ、餘程困ルダラウト思フノデス

ガ、ソコノ所ハ如何ナモノデアリマセウカ
○政府委員(谷口恒二君) 是ハ只今チヨツト申シタノデアリマスガ、事實ハ、外國拂

ノモノニ付キマシテ前金拂ヲスルト云フヤウナコトハ、極メテ稀、殆ド無イカト思ヒ

マス、主トシテ内地ノ工場等ニ註文ノ際ニ、前金拂ヲスルト云フコトニナツテ居リマス

○子爵大河内輝耕君 サウシマス、此ノ勅令ガ出テデモダ、今ノヤウナ納期ガ遅レ

テミタリ、或ハ又甚ダシキニ至ツテハ入ラナクナツテシマッタト云フヤウナ、納入ガ不

能ニナツテシマッタト云フヤウナコトハ生ジナイヤウニ、ソコノ點ハ十分政府デ御見込

モアリ御確信モアリ、又將來ノ運用ニ付テモ無論サウサレルモノダト、斯ウ當リ前ノ

コトデスガ、サウ承知シテ宜シイノデアリマスカ

○政府委員(谷口恒二君) 大河内子爵ノ只今仰セニナリマシタヤウニ、十分其ノ點ニ

ハ注意致シマシテ不都合ノナイヤウニ出來ル考デゴザイマス

○子爵大河内輝耕君 此ノ支那事變ノ財源ニ充ツル爲特別會計カラ繰入レラスル、是

ハ先程伺ツタノデスガ、毎年斯ウ云フ風ニヤル積リナンドセウカ、ソレトモ一時ノモノ

ナンドセウカ、ソレハドウデゴザイマスカ

○政府委員(木田正孝君) 軍事費ノ財源ニ充ツル爲ニ、軍事費ノ續ク限リヤツテ行キタ

イト云フ方針デアリマス
○子爵大河内輝耕君 是ハ何カ根據ガナイ

ト争ノ點ニナリハシマセヌデスカ、其ノ度ニ押問答シテ居ルノモ、甚ダ政務ヲ圓滑ニ

執行スル上カラ言ツテモ面白クナイシ、ソコハ如何デセウカ、兎ニ角何カ算定ノ根據ハ

アリマセヌカ
○政府委員(木田正孝君) 斯ウ云フ繰入金

ヲ致スコトニ付キマシテハ、特別會計ノ歲計ノ狀況ヲ能ク見マシテ、歲計ノ餘リ悪イ

モノカラハ出サナイ、併シ何ニ致セ國ノ一大事デアリマシテ、各特別會計ニ於テモ應

分ノ分擔ヲシテ戴キタイト云フ其ノ點デ、歲計ノ狀況ヲ能ク見テ應分ノモノカラ斯ウ

云フヤウニシテ戴キタイト、又其ノ方針ヲ續ケテ行キタイト考ヘテ居リマス

○子爵大河内輝耕君 官廳ノ内部ノコトデスガ、何カ取極額ト云フモノデモアルノデス

カ、之ニ付テハ……、ソレトモマア一時限リノコトデ、來年ノコトハ來年ニナツテ極

メヨウヂヤナイカ、云フ位ノコトデセウカ
○政府委員(谷口恒二君) 其ノ點ニ付テ官

廳内部ニ於ケル取極メハゴザイマセヌ、唯各特別會計ノ歳入歳出ノ狀況ヲ見マシテ、

一般ノ戰費ノ關係ト考ヘマシテ、サウシテ決メテ行キタイト、斯ウ考ヘテ居リマス

○子爵大河内輝耕君 私ノ質問ハ是ニテ打切ツテ置キマス

○男爵長基連君 此ノ法案ノ第二條ノコトニ付テチヨツト御尋ネシタイトノデス、第二條

ハ十四年度即チ次ノ年度ノ公債ヲ發行シ得ルト云フ規定デアリマスガ、是ハ申ス迄モ

ナク翌年度へ繰越シスル歳出ノ財源ニ充ツルト云フコトデアリマスガ、此ノ繰越使用

ト云フコトハ、是ハ會計法ニ規定ガアリマシテ出來ルコトニナツテ居リマスガ、即チ會計

法ノ、會計ハ一年限リデアルト云フ此ノ原則ノ一ツノ大キナ例外ト見ラレル、ソレデ會計

法ノ豫想シテ居ル所ハ、此ノ繰越使用ト云フモノノ金額ハ極メテ小額ノモノデアリ、

又次ノ年度へ入ツテノ期間モ極メテ短イモノデアルト云フコトヲ豫想シテ、斯ウ云フ

例外ヲ作ツタモノト考ヘルノデアリマス、ソコデ此ノ公債發行迄モ次ノ年度ニヤルト云

フコトハ、會計法ニハ何モナイと思ヒマスガ、ソレラ今度ハ、必要ガアル場合ニ此ノ

法律ニ依ツテ決メヨウト云フコトデアラウト思ヒマス、ソコデ實際ニ於テハ、マア此

ノ事變並ニ國際情勢カラ見テ、ドウシテモ多額ノ金額ガ次ノ年度へ繰越サレルト云フ

コトデアアルガ爲ニ、公債ノ發行モ次ノ年度ニスルト云フコトニナルト思ヒマスガ、

從來ハ繰越使用ト云フコトハドウ云フ風ナコトニナツテ居リマシタカ、其ノ金額並ニ費

目ト云フヤウナモノニ付テ、サウ前カラデハアリマセヌガ、ココ數年間ノ情勢ハドウ云

フ風ニナツテ居ルカト云フコトノ御説明ヲ得タイト思ヒマス

○政府委員(谷口恒二君) 只今長男爵ノ御質問デアリマスガ、繰越ノ大體ノ模様ヲ申

上ゲマスト云フト、最近、昭和十一年度ノ決算ニ於キマシテハ六千七百萬圓デアリマ

ス、ソレカラ十年度ガ六千五百萬圓、九年度ハ七千九百萬圓、昭和八年度ガ五千四百

萬圓、七年度ガ五千五百萬圓、大體サウ云フ狀況デゴザイマス

○男爵長基連君 其ノ費目ニ付テ、何カ御説明ハアリマセヌカ、ドウ云フモノガ繰越サレテアルカ……

○政府委員(谷口恒二君) 只今御答へ申上

ゲマシタ中デ、昭和十一年度ノコトニ付キマシテ大體申上ゲタイト思ヒマス、昭和十

一年度ノ繰越額ハ先程申シマシタヤウニ大體六千七百萬圓繰越ガアルノデアリマスガ、

此ノ中デ所管別デ相當多イノヲ申シマス

百萬圓、農林省デ五百萬圓、ソレカラ大藏省ニ於テ千萬圓ト云フノガ大體大キイ所デアリマス、ソレカラ尙詳シク申上ゲマスト云フト、内務省ノ中デハ河川改修費ノ補助デアリマストカ、或ハ此ノ道路改良費等、是等ハ主トシテ工事ノ關係デ繰越ニナッテ居ルト思フノデアリマスガ、尙道路改良ノ外ニ、中小河川改良助成ト云フヤウナ種類ノモノガ、工事ノ關係デ翌年度ニ繰越サレルモノガアルノデアリマス、又災害費ノ如キモ只今申上ゲマシタヤウナ種類ノモノニ屬スルノデアリマス、ソレカラ大藏省ノ所管ニ於キマシテハ、主トシテ是ハ繰越ニナリマスノハ營繕費デアリマシテ、中央諸官衙其ノ他ノ建築ニ於キマシテ、建築ノ進行上下ウシテモ翌年度ニ延サナケレバナラヌト云フヤウナモノガ生ジテ來ルノデアリマス、陸軍省ノ所管ニ於キマシテモ、或ハ兵器ノ製作デアリマストカ云フヤウナモノニ付キマシテ翌年度ニ繰越ガ生ジテ來テ居ルヤウナ狀況デアリマス、又農林省ニ付キマシテモ繰越額ハ相當多イノデアリマスルガ、之ニ付キマシテモ土地ノ開墾及ビ土地改良費等ノ費目ニ於キマシテ繰越ガ生ジテ來テ居リマシヤウナ狀況デアリマス

ト、毎年相當多額ノ繰越使用金ガ行ハレテ居ル、而モ會計法デハ、ソレハ其ノ財源ノ爲ニ發行スル公債ノ發行ト云フモノヲ翌年度ニ許スト云フコトハ、規定シテアリマセヌ、毎年々々相當額ガ發行サレ、而モ若シソレヲ其ノ財源ヲ公債ヲ求メルト云フヤウナ場合ニハ、斯ウ云フ風ナ、今度ノヤウニ毎年公債發行ヲ翌年度ニスル、斯ウ云フ法律ヲ御出シニナラヌデモ、必要ガアルナラバ、會計法ノ改正ト云フモノヲラシテ置イタ方ガ都合ガ好イノデハナイカト思ヒマシガ、如何デゴザイマスカ

○政府委員(太田正孝君) 御話ノ通り、大變斯ウ云フコトガ繰返サレル點カラ致シマシテ、會計法ヲ改正スルト云フコトハ考ヘラレル問題デアリマスガ、憲法附屬ノ大權デアリマシテ、ナカク之ニ手ヲ加ヘマスコトハ、色々方面ニ問題ガアリマスコト、今暫ク考慮シテ置キタイト、斯ウ考ヘテ居リマス

○男爵長基連君 其ノ問題ハ大體分リマシタガ、ソレカラ是ハ大藏省ニ關係ノナイコトデセウケレドモ、對支文化事業ノ特別會計法ノ方デアリマスガ、其ノオ終ヒノ方ノ詰リ「同特別會計ノ決算上不足ヲ生ジタルトキハ積立金ヨリ之ヲ補足スベシ」ト云フ、

此ノ補足スル金額ガ限定シテアリマセヌデ、是デヤッテ見ルト幾ラデモ補足ガ出來ルト云フコトニナリマスガ、此ノ對支文化事業ノ特別會計ノ資産ノ主ナルモノハ、支那ノ公債ガ多イト思ヒマスガ、斯ウ云フ事變ニ際シテ、其ノ元利ガ入ッテ來ルカドウカト云フコトハ分ラナイ狀況デアリマス、且一方ニ於テ支出ガ澤山ニナッテ來ルト云フ場合ニハ、決算上ノ不足モ相當出ルノデハナイカト思ヒマス、サウシテ積立金ヲ崩スト云フコトニナリマス、千萬圓モアリマセヌカラ、直グ無クナッテ來ルト云フ状態ニナッテ來ルト思ヒマス、其ノ邊ノコトニ付テ大藏省ハ如何デゴザイマスカ

○政府委員(太田正孝君) 今度對支文化事業ノ歳出額ノ限度ガ高メラレマシテ六百萬圓迄ナルノデアリマスガ、積立金ガ昭和十二年十一月末ニ於テ千八百萬圓アルノデアリマス、從ッテ、現在色々利子ナドノ入ル關係ガウマク行カナイ點ガアリマスガ、是ダケノ積立金ヲ持ッテ居リマスト云フト、御示シノヤウナ場合ヲ考ヘテ見マシテモ、十分其ノ餘力ガアルコトデゴザイマスカラ、其ノ御心配ハナイヤウニ考ヘテ居ルノデアリマス

ト思ヒマス、是ハ公債發行ノコトデアリマスケレドモ、先達デカラモ御話ガアリマシタ通りニ、本年度ハ相當多額ノ公債ガ出ルコトニナッテ居リマス、ソコデ其ノ消化ノ方面ニハ、銀行トカ保險會社トカ色々アリマスガ、民間ノ方面ハドウ云フ風ニソレガ消化セラレルカト云フコトハ甚ダ見透シノ付カナイコトデアリマスガ、政府ノ特別會計デ持ッテ居ル資金デ以テ此ノ公債ヲ消化スルト云フコトニ付テハ、豫メ御見込ガ立チ得ルノデハナイカト考ヘルノデアリマス、大體此ノ特別會計ノ資金デ以テ今年度ハ幾ラ位ノ公債ガ引受ケラレルカト云フコトニ付テ御説明ヲ願ヒタイ

○政府委員(太田正孝君) 長男爵ノ御示シノ通り、公債消化ト云フコトハ非常ニ大キナ問題デゴザイマシテ、政府ノ手ノ中ノモノデ十分出來ルダケノコトハヤッテ行キタイ、先般大河内子爵ノ御質問ノ時ニモ御答ヘ申上ゲタノデゴザイマスカ、第一ハ預金部關係デゴザイマスカ、其ノ時申上ゲマシタ通り郵便貯金ノ増加率モ非常ニ多ク、又今後モ増スト見ラレテ居リマスノデ、本年度ハ預金部ニ於テ四億五千萬圓、今日迄決メマシタ所ガ四億五千萬圓ニナッテ居リマスノデ、無論斯ウ云フ方面ニ於ケル公債ノ

○男爵長基連君 只今御説明ニ依リマス

持タセ方ハ、更ニ増シテ行カナケレバナラナイ、又増スベキ筋合ニアルト存ジマス、簡易生命保險ノ積立金ニ付テモ同様デゴザイマス、サウ致シマス、今十餘リノ他ノ特別會計ニ於テモ持ッテ居ルノデゴザイマス、此ノ方面モ出來ルダケヤッテ行カウ、併シ預金部ニ致シマシテモ、簡易生命保險ニ致シマシテモ、今年ヨリモ増シテ行ク筋合ニアリ、又増シテ行カナケレバナラスト云フコトハ定メテアリマスガ、確立的ニ金額ヲ幾ラト割振ツタヤウニマダ定メテ居リマセヌノデアリマス

○男爵長基連君 今御尋ネシタ問題ハ、的確ニ幾ラノ引受ケラレルト云フコトハ定メテ居ラスト云フノデアリマスガ、相當此ノ特別會計ノハ多イコトデアリ、又殖エル狀況モ大體政府ノ方デハ御想像ガ付クト思ヒマス、此ノ特別會計ノ全般トシテ、ホンノ大體ノ數字、凡ソ何億位ハ引受ケラレルト云フ位ノコトハ、見當ガ御付キニナルト思フノデアリマスガ、如何デアリマスカ

○政府委員(太田正孝君) 昭和十二年ノ十二月末ノ政府及ビ政府關係ノ持ッテ居リマス……共濟組合ヲ入レマシテ持ッテ居リマス關係ナドカラ見マシテ、本年アリマスル高ヨリ多クナルト云フコトハ申上ゲラレル

ノデゴザイマスガ、又一番大キナ預金部ノ關係ニ付テ、其ノ點ニ付キマシテ一回ニ互ッテ本年度モ増シテ參リマシタガ、色々最近ノ預金部ト致シマシテ、地方ヘヤラナケレバナラヌモノナドノ關係ガアリマスカラ、マダハキリシタ、若シクハ大マカノ所デモ御報告申上ゲル所マデ參ッテ居リマセヌノデゴザイマスガ、惡カラズ御了承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○土方久徵君 私ハ歳入補填公債ノコトデ御伺ヒ致シタイ、先程長男爵カラノ御質問ニ關聯致シテ居リマスカラ……歳入補填公債ハ、御承知ノ通り昭和七年度カラ殆ド年々今日迄出テ居ル、而シテ自分ノ承知致シテ居リマス所デハ、其ノ總額ガ三十四億ト思ッテ居ル、而シテ是等實際ノ發行高ハ二十五億六千、或ハ二十六億圓程發行セラレテ居ル、其ノ中デ、其ノ權能ヲ政府ガ有テ居ラレマス法律ニ依ッテ、翌年度限りデ打切ッテシマッタモノモ大分アルダラウト思ヒマスガ、要スルニ指數的ニ申シマス、發行豫定額ト實際發行額差ガ七割六分ニナッテ居ルト思フノデアリマス、是ハ今ノ法律ニ、特ニ翌年度ニ繰越シテ發行スルコトヲ得ルト云フコトガナイ限りハ、此ノ中ノ其ノ部分ダケハ、今後ニ於テ發行ガナイ

ト承知シテ宜シイデゴザイマセウカ、其ノ點ヲ第一ニ伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(太田正孝君) 御言葉通りデゴザイマス

○土方久徵君 サウ致シマス、今日殘ッテ居ルノハ、十一年度十二年度ニ關係スルト思ヒマスガ、其ノ未發行ニ屬スルモノハ現在下ノ位殘ッテ居リマスカ

○政府委員(谷口恒二君) 只今ノ御尋ネノ件デゴザイマスガ、不要ノ打切ヲ致シマシタノハ、昭和十一年度末ニ於キマシテ四億八千三百萬圓、サウ云フコトニ相成ッテ居リマス

○土方久徵君 ソレハ打切ッテシマッタ高デアリマスカ

○政府委員(谷口恒二君) 仰セノ如ク、不要トシテ打切リマシタ金額デゴザイマス

○土方久徵君 現在殘ッテ居ル未募集ノ公債ノ殘額ハ、下ノ位アリマスカ

○政府委員(谷口恒二君) 只今殘ッテ居リマス發行餘力ハ、昭和十三年度ノ一月十一日現在ニ於テ三億三千八百萬圓

○土方久徵君 ソレカラ現在ニ於テ、日本銀行ガ補填公債ヲ引受ケマシテ保有シテ居ル額ガ分ッテ居リマスカ、日本銀行ノ週報其ノ他公表セラレマスモノニ依ルト、現在

ト申シマスカ、最近ノ數字ガ、約十一億程手持公債ヲ有ッテ居ルヤウニ私ハ承知致シテ居ルノデアリマス、其ノ中補填公債ガ幾ラアリマスカ、其ノ他滿洲事變公債モ其ノ中ニ入ッテ居ルダラウト思ヒマスガ、其ノ區分ガ分ッテ居リマスカ

○政府委員(谷口恒二君) 今其ノ區分ケノ數字ヲ持ッテ居リマセヌノデ、後デ御届ケ致シマス

○土方久徵君 御分リニナリマシタラ御知ラセテ願ヒマス、ソレカラ是ハ昨今迄ハ日本銀行ノ公債運營業操作ニ依ッテ都合好ク私ハ行ッテ居ルト信ジテ居リマスガ、今後從來ノ如ク……此ノ日本銀行ガ先ヅ以テ引受ケテ、サウシテ市場ノ狀況ニ依ッテ賣出スト云フコトガ、原則トシテ今日迄ナッテ居ルト思ヒマスガ、今後モ恐ラクサウ云フ狀況デアラウト御察シスルノデアリマスガ、今年度ニ於テ、只今ノ未募集額又新規ニ發行セラレルモノハ、相當非常ナ巨額ニ上ラダラウト推察セラレルノデアリマスガ、是ハ先程御話ノアリマシタ通り、各種ノ特別會計其ノ他デモ相當引受ケラレ、又日本銀行デモ、今迄ノヤリ方ニ依ッテ之ヲ消化シテ行クコトニ、十分努力セラル、コトト私ハ確信スルノデアリマスガ、今後ノ一般

經濟金融ノ狀況ニ依リマシテハ、時ニハ資金關係ニ於キマシテ、日本銀行トシテモ市場操作ト云フコトガ段々ムツカシクナツテ來ルノデヤナイカト私ハ考ヘル、サウ云フ場合ニ於テハ、ドウシテモ日本銀行ノ手持公債ハ増加スル傾向ニアルト見ナケレバナラヌ、是ガ私共非常ニ憂ヘルノデアリマシテ、即チ其ノ結果ト致シマシテ、日本銀行ノ兌換券ハ始終増發ニ次グニ増發ヲ以テスル、或ハソレガ、固定シテ動カヌドコロデハナイ、増發、増發ト云フコトガ始終續イテ來ルヤウニナルト、是ガ物價問題ニモ關係シテ來ル、又延イテハ對外爲替ノ問題ニモ重大ナル影響ヲ持チ來スト考ヘルノデアリマス、之ヲ今カト勿論御考ニナツテ居ルコトト存ジマスルガ、餘リ日本銀行ノ手持公債ヲ多クスルト云フコトハ、ドウシテモ避ケナケレバナラヌ、成ル程日本國ノ全體ノ力ト申シマスカ、經濟力ト申シマスカノ點カラハ、相當ナ公債發行ノ負擔ニ堪ヘルトハ存ジマスルガ、アノ中央銀行ニ手持公債ヲ始終餘計持クシテ居ルト、所謂其處ニ停滯シテ居ルト云フヤウナコトガ永ク續キマスルト、必ズ物價問題、其ノ他經濟上ノ諸現象ニ、非常ニ惡イ結果ト現象ヲ呈スルト云フコトハ、私ハ疑ナイト思フノデアリ

マス、之ニ對シマシテハ、政府ハ相當御考慮ニナツテ居ルコトト存ジマスガ、凡ソ此ノ位迄ノモノハ持クシテモ、一般資金關係其ノ他ニ於テ、業態ヲ危殆ナラシメルト云フヤウナコトハナイト云フヤウナ、大體ノ御考ガアリマスルナラバ、ソレヲ伺ッテ置キタイト思ヒマス

○政府委員(太田正孝君) 此ノ戰時財政ヲ

ヤツテ行ク上ニ於キマシテ、最重要ナル問題デアリマスル財源ノ調達、特ニ日本銀行ノ手持ノ公債ノ高ガドノ位ニ行クカ、ドノ位ノ見當ニヤツテ行クカト云フコトハ、最重要ナル問題ト存ジマス、土方委員ノ御示シニナリマシタ通り、今此ノ議會ヲ通ジテノ一番大キナ問題トシテ、悪性「インフレーション」ガ起ルカ、物價ハ騰貴スルカ、斯ウ云フ問題ノ中心ヲ現シク意味カト存ジマス、此ノ點ニ付キマシテハ、大藏大臣モ度々申上ゲマシタ通り、要スルニ物ト金トガナガラカニ世ノ中ニ通ル、流レテ行クト云フコトノ意味ニ於キマシテ、總テノ方策ヲ樹テテ行カナケレバナラヌ、而モ是ハ政府ダケデ出來ルコトデナク、國トシテモ考ヘナケレバナラヌ、國民モ其ノ氣持ニナツテ呉レナケレバドウニモナラナイノデゴザイマシテ、銀行ニ公債ヲ持テト言ッテモ命令的ニ持つベキモノデ

ナク、又「ドイツ」ガ世界戰爭中竝ニ戰後ニヤリマシタ如ク強制的ニ持タスト云フヤウナコトモ出來マセヌノデ、只今ノ所デハ統制ヲ強化致シマシテ、或ハ資金調整法デストカ、或ハ臨時措置法デストカサウ云フモノニ加フルニ、爲替管理法ナドニ依リマシテ、國ノ方デ物ト金トガナガラカニ行クト云フヤウニ考ヘテ居リマス、而シテ國民ニ對シマシテモ御願シテ合理的ノ節約ヲシテ戴キタイ、貯蓄モシテ戴キタイ、配給モ上手ニシテ戴キタイ、而シテ物ノ殖エル關係ニ於キマシテ、最モ必要トスル意味ニ於キマシテ、生産擴充モヤツテ戴キタイ、國ト民トガ心ヲ協セテ行クト云フ意味ニ於キマシテ、又澤山出マス所ノ公債、昨日モ衆議院デ大藏大臣ノ申シマシタ通り、明年度ニ於キマシテハ彼此レ五十億カラノ公債ヲ募ラナケレバナラスコトニナツテ居リマス、又本年度ニ於キマシテモ殘ッテ居ル公債ガ十二億バカリアルカト思ヒマスガ、大變大キナモノガ出テ行クコトニナリマスガ、是ガ今申シマシタ資金調整法等ニ依リマシテ、金ノ流レガ順調ニ行キマスコトニナリマスレバ、只今申シマシタ物價ノ關係ナドニ於キマシテモ、或ハ一般的ノ悪性「インフレーション」ニ付キマシテモ、凌ぎ得ルデハナイカ、從テ一

應先ヅ日本銀行ニ持タス、持つテ戴クケレドモ、其ノ意味モ、事業資金等ノ關係ガアリマスルノデ、事業資金關係ト睨ミ合ハシテ一應先ヅ日本銀行デ持つテ貫フト云フコトニナツテ居ルノデアリマスガ、是ガ幾ラニ留メテ、幾ラ位迄ガ其ノ限度デアルカト云フコトニ付キマシテハ、今申シマシタ方式ヲ主トシテ守ッテ行キタイ、又ソレニ依ッテ行クヨリ外ナイト考ヘテ居ルノデアリマスノデ、金額トシテドレダケ位ガ、日本銀行デ持つテ戴クヤウニシタラ宜イカト云フコトハ、チヨット申上ゲ兼ネルコトデゴザイマスガ、今言ッタヤウナヤリ方ガ、ナガラカナ流れヲ作ッテ行クコトガ出來マスナラバ其ノ目的ヲ達スルデハナイカ、甚ダ御不滿ノ點モ多カラウト思ヒマスガ、其ノ點ハ御察シテ願ヒタイト思ヒマス

○土方久徵君 只今承リマス通り、御答辯

ニ依リマスト是ハナカノムツカシイ問題デ、質問者ト雖モ非常ニムツカシイ問題ト思ヒマスノデ、其ノ點ハ今後ノ趨勢ニ十分ナ御注意ヲ願フト云フコトニ致シテ、此ノ點ハ止メテ置キマス、唯是ハ少シ一般ノ問題ニナリマスガ、先程政府委員ノ御方カラ御説明ニナリマシタ通り、十二年度ニ於テ三億三千八百萬圓ハ打切ッテ云フコトデア

願ヒタイト思ヒマス

億三千八百萬圓ハ打切ッテ云フコトデア

リマシタガ、昭和七年以來ノ赤字公債ヲ、一年度或ハ其ノ翌年度限リニシテ、後打切ツタ額ガ、今日迄相當ノ額ニ上ツテ居ルノデ、私ノ承知致シマス所ニ依リマス、約八億以上ニモ上ツテ居ルカト思フ、此ノ赤字公債ハ、今日ノ時局ニ至リマシタノデ私ハ已ムヲ得ナイコトト思ヒマスガ、若シ此ノ時局ナカリセバ、赤字公債ト云フモノハ、如何ナル方法ヲ以テシテモ早ク無クスベキモノデアルト云フ私ハ感想ヲ有ツテ居リマス、是ハ或ハ意見ノ相違ト云フコトニナリマスカモ知レマセヌケレドモ、赤字公債ガ七年モ八年モ續イテ、又今後モ續クダラウト云フ豫想ヲ一般國民ニ持タセルコトハ、甚ダ面白クナイコトデハナイカト思フ、乃チ本同ノ非常時局ニ直面致シマシテ殊ニ私ハ之ヲ感ズルノデアリマス、平素ノ一般會計ニ始終赤字公債ガナカッタラバ、今度ノ時局公債ノ發行ニ付テモ國民ノ思ヒ入レガ大變違フダラウ、此ノ赤字公債ヲ年々歳々續ケテ、今後モ、先回何時デゴザイマシタカ大藏大臣モマダ數年ハ續クダラウト云フ御豫想ガアルヤウニ拜承致シタノデアリマスガ、是ハ一ツ十分ニ御考慮ヲ願フテ行カナケレバナラヌコトト思フ、即チ一方ニハ銳意租稅ノ問題ヲモ一ツ御考ニナツテ、此ノ赤字公債ト云

フモノハ所謂常時ノ財政操作ノ一ツノ道具デナイト云フコトニ、根本ヲ決メテ御掛リニナルコトヲ私ハ御考アツテ然ルベキコトト思フノデアリマス、斯ウ云フ風ニ始終赤字公債ガ年々増加シ、又今後ドウシテモ止メルコトハ出來ナイト云フコトニ付テハ、ソコニ已ムヲ得ザル特別ナ理由ガナケレバナラス、即チ國民ノ經濟上、租稅其ノ他ニ依ツテ之ヲ補填シテ行クコトハ、ドウシテモ出來ナイノデアアルト云フコトガアツテ、斯ウ云フコトニナツテ居ルコトハ存ジマスケレドモ、此ノ時局ニ當面シマシテ、先程申上ゲマシタ通り、此ノ赤字公債ノ連續發行ト云フコトハ甚ダ好マシクナイコトデアアルノデアリマス、之ニ付テハ豫テ政府當局トシテ相當御考ノアルコトト存ジマスノデスガ、唯漠然ト、今後數年後迄ハドウシテモ是ハ發行シテ行カナケレバナラヌト思フト云フコトヲ伺ヒマス、甚ダ私ハ遺憾ニ思フノデアリマス、是等ニ付キマシテハ、政府トシテモ相當御考慮ニナリマシテ、例ヘバ時局公債ト言ヒマス、此ノ戰爭ガ濟ンダナラバ片附クト云フコトヲ國民ハ豫想シテ、之ニ應ズルコトモアリマセウシ、又應ゼナケレバナラスノデアリマス、出來ルダケ節約モシ、總テ關係業者ハ勿論、一般國民モ其ノ積

リデ掛ツテ居リマス、此ノ一般會計ヲ何時迄モ何時迄モ、約、今ノ御話ニ依リマストマダ少クトモ三四年ハ、赤字公債ト云フモノハ年々財源トシテ計上シナケレバナラヌト云フ風ニ伺ヒマス、是ハマダ其ノ先モ續クノカモ知レナイ、既ニ六七年モ昭和七年以來ズツヤツテ、豫定額ハ先程申シマシタ通り三十四億ニモ上ツテ居ルノデアリマス、今迄コソ消化ガヨク行ツタガ、今度之ヲ始終御續ケニナルト云フコトニナルト、只今申ス通り國民ノ心理状態ニモ私ハ相當影響ノアルコトト思フノデアリマス、是等ニ付テハ只今、何時ニナツタラ止メルカト云フコトハ、此ノ時局關係デ勿論出來マスマイガ、之ニ付テハ只今カラ之ヲ一日モ早く、一年モ早く無クスト云フコトニ付テノ御考ガアツテ然ルベキコトト思フノデアリマシタガ、政府ニ於テハ相當御考慮ニナツテ居ルコトト存ジマスガ、ソレ等ニ付テ何カ御考ガアリマスレバ一應承ツテ置キタイト思ヒマス

ニ付キマシテハ、歳出ノ方面ニ於キマシテ節減スベキモノハ徹底的ニヤツテ行ク、又歳入ノ方面ニ於キマシテ、租稅ニ於テヤリ得ベキ分量ガアリマシタナラバ、其ノ點ニ付テモ注意スル、先ツ大マカニ言フト、歳出ニ於テハ消費節約ト云フコトト、歳入ニ於ケル増稅ト云フ問題ガ大キナ項目カト存ジマス、其ノ歳出ニ付キマシテハ、大藏省ニ於キマシテモ各省ト話シ合ヒマシテ、年々ト言ツテ宜イ位、殊ニ此ノ事變ニナリマシテカラハ物資ノ關係モアリマシテ、相絡ンデ相當強イ各省ニ對スル節約ヲ要求シ、又先般主計局長カラ御話申上ゲマシタ通りノ、不用額ヲ立テルコトノ順序ヲ進メテ居ル譯デゴザイマス、勿論徹底的ニ行政財政ノ整理ヲスルト云フ所迄ハ參ツテ居リマセヌガ、現ニ打突カツタ問題トシテ、事務當局トシテハ隨分各省ニ對シテ、無理ト云フ言葉モ酷ウゴザイマスカモ知レマセヌガ、隨分強イ言葉デ色々ノ仕事ヲ節約若シクハ打切りヲ願フテ居ルヤウナ次第デゴザイマス、此ノ關係ハ、根本的ノ整理ヲスルト云フコトガ、今日ノ狀況ニ於キマシテハ一方ニ戰時ノ需要ニ應ズル爲ニ各種ノ仕事モ殖エテ居リマスノト、深キ關係ガアリマスノデ出來ルダケ一般的ノ費用ハ縮メルヤ

ウニスル、而モ他方ニ於キマシテ歳出ニ於テ、此ノ戰時ノ需要ニ應ズル爲ニ役所ノ仕事モ殖エテ居リマスノデアリマス、ケレドモ其ノ殖エルコトニ付キマシテモ、大藏省トシテハ各省ノ氣ニ入ラス位ヒドイ削減ヲ致シテ居リマス、而モ他ノ一面ニ、軍事費ニ對シテハ十分用意致サナケレバナラスヤウナ狀況ニゴザイマスガ、一般的ノ費用ニ付キマシテハ、大藏省トシテハモウ精一パイノ努力ヲ以テ其ノ方面ニ力ヲ盡シテ居ル次第デゴザイマス、増税ニ付キマシテハ、既ニ御案内ノ通り結城大藏大臣ノ時ニ出マシタ増徴法ト言ヒ、又其ノ後北支事變特別稅ガ掛ケラレタコトト言ヒ、ナカノ大キナ負擔ガ掛ッテ居ルノデゴザイマス、斯ウ分ケラレテ掛ッテ居リマスルカラサウ強ク響カヌヤウデゴザイマスガ、ソレニ加フルニ今回又三億ノ増稅ヲ御願ヒシテ居ル譯デゴザイマスガ、彼此レ考ヘテ見マスルト六七億ト云フモノ、ソレニ自然增收迄加ヘマシタナラバ、相當多額ナ負擔ヲ國民ニ強ヒテ御願ヒシテ居ル譯デゴザイマス、デ中ニハモット出セルダラウト申シマスルガ、隨分事業界ノ關係、或ハ其ノ他餘程殖エタ方面ハゴザイマスルガ、尙且一面ニ政府ノ政策ニ依ッテ打撃ヲ受ケ

テ居ル方面モゴザイマスノデ、彼此レ考ヘテ見マスルト云フト、今日ノ増稅、昨年カラ續イテ來タ増稅、總テヲ括シテ見マスルト云フト、ナカノ此ノ負擔ヲ國民ニ御願ヒスルト云フコトハ、モウ私共ノ考デハ、今ノ時局ニ對シマシテノ増稅ト云フ範圍ニ於テ御願ヒ申ス範圍ハ、相當強イ所迄行ッテ居ルノデハナイカト思フデアリマス、デ赤字ヲ無クスルト云フコトニ付キマシテハ、此ノ増稅ノ問題ト最モ深キ關係ヲ持ッテ居リマスノデアリマスガ、今回ノ三億圓ニ付キマシテモ、手温イトカ云フ御言葉モ承ッテ居リマス、ケレド私共ノ考ヘル所デハ、今申ス此ノ時局ニ、而モ産業ナリ事業ナリニ打撃ナイヤウニ、國民生活ニヒドイ打撃ノナイヤウニヤッテ行カウト云フ筋合ニ於テ、出來ルダケ收入ヲ得ル建前カラシテ、先ヅ此ノ邊チヤナイカト考ヘテ居ルノデゴザイマス、デ戰後ノ關係モ考ヘテ見マスルト云フト、御案内ノ通り未ダ一般ノ稅制整理ヲシテ居リマセヌノデ、是ガドウ落付クカト云フコトハ、時局ノ動キニモ依ラナケレバナラヌノデアリマスガ、稅ノ問題ニ付テハ將來ノ計畫ヲ考ヘテ行クコトト、ソレカラ徹底的ニ財政行政ノ整理ニ向ッテ部分的ニデモヤッテ行カナケレバナラス、斯ウ云

フ建前ノ下ニ今日ノ財政ヲ處理シテ居ル譯デゴザイマシテ、赤字公債ガアルト云フコトハ御言葉ノ通り誠ニ殘念ナコトデ、而モ之ヲ直ス爲ニ歳出ナリ歳入ナリニ付テ財務當局トシテモ苦心シテ居ル點ハ以上申述ベタヤウナ次第デゴザイマス、左様御了承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○土方久徵君 御説明ハ一應御尤ニ拜承致シマス、ガ今ノ此ノ時局關係デ公債ヲ募ラレル、租稅ヲ増徴セラレルト云フコトニ付テハ、國民トシテハ是ハマア三食ヲ二食ニ減ラシテモ、之ニ應ジテ行ク覺悟ヲセムケレバナラヌト云フ今日デアリマスルカラ、宜イノデアリマスガ、ソレニモ拘ラズ平和産業、即チ平和産業ノ方ノ部面ガ完全ニ動イテ行カナケレバ、戰時ノ需要ヲ充ス譯ニ行カスト云フコトモ、私共能ク分リマス、從ッテ其ノ方ノ障害ニナラヌヤウニ、成ルベク稅額ヲ控ヘテ増徴ナスツテ居ルト云フコトモ了承致シマスガ、併シ今申上ゲマス通り時局ニ對シテ租稅ヲ負擔スルト云フコトハ、國民トシテハドウシテモ覺悟セナケレバナラヌ、而シテ爲政者トシテハ、時局ガ幸ニ解決シタナラバ、其ノ時ニハサッサト租稅ヲ輕減スルト云フコトハ御考ヘニナツテ置カナケレバナラスコトト思ヒマス、

是ナラ國民モ私ハ甘シジテ受ケルト思ヒマスガ、殆ド常習ノニ何年モ々々一般會計カラ赤字公債ヲ出シテ居ル、是ハ國民ニ非常ナ心理的ナ惡影響ヲ及ス、サウシテソレヲ何時モ公債ニ依ラナケレバナラヌ、而シテ之ヲ引受ケ消化スル方面ニ於テハ、始終之ニ累サレルト云フコトガアリマスルノデ、私ハ特ニ伺ッタノデアリマスガ、今ノ御話ノ通り歳入増加、租稅等ヲ増徴セラレマシテ歳入増加ヲ圖ル、乃至ハ歳出ヲ節約シテ赤字ヲ出來ルダケ少クシテ、出來ルナラバ消費ヲ出シテ致シタイト云フ御考ハ了承致シマスガ、モウ此ノ年々赤字公債ヲ出スト云フコトニナリマス、大藏省トシテハ今ノ御話ノヤウニ御考ニナリマスコトハ勿論デアリマスガ、各省ガ、マアソレハ赤字公債ヲ出シタラ宜イヂヤナイカ、サウスレバ歳入ノ補填ガ付クヂヤナイカト云フヤウナ、萬一ニモ御考ヲ持ッテ色々御請求ヲ爲サルト云フコトデアルト、是ハ大藏省モ非常ニ御困難ナ御立場ニ御立チニナルノデハナイカ、是ハ政府一般ノコトデアリマスガ、私ハ成ルベク早く、一年モ早く斯ウ云フモノハ無クシテシマフト云フ御考ノ下ニ、行政整理ト申シマスカ、出來ルダケ費費ノ節約ヲ圖ルト云フコ

トニ、是ハ政府一般ニ今カラ御考ニナッテ置カナケレバナラヌコトト存ジマスノデ、之ニ付テハ唯出テ來タモノニ付テ之ヲ嚴重ニ査定スルト云フコトノミデナク、サウ云フ計畫ヲ爲サルト云フコトガ根本ニイカナイト云フコトヲ、大藏省カラ十分ニ御説示ニ相成ルヤウニ致シタイト私ハ考ヘルノデアリマス、政府ハ勿論、大藏省ト致シマシテ、必ズサウ云フ御考ヲラウト存ジマシガ、今後ハ一層其ノ御考ヲ強調セラレマシテ、各省ニ向ッテモ赤字公債ヲ財源ニスルコトハ、モウ今後ハ出來ナイト云フ位迄ニ一ツアッテ欲シイト私ハ思フノデアリマス、ソレ等ニ付キマシテハ大藏省ノ御考ハ如何デアリマセウカ、ソレヲ伺ッテ置キマス

○政府委員(大田正孝君) 勿論心構ト致シマシテハ、今土方委員ノ申サレタ通りノ氣持ヲ持ッテ居リマス

○土方久徵君 私ノ質疑ハ是デ終リマス

○委員長(公爵山縣有道君) 他ニ御質問ゴザイマセヌカ……御質問ゴザイマセヌケレバ、如何デゴザイマスカ今日ハ……

○子爵大河内輝耕君 今日トハ限リマセヌガ、此ノ間、商工大臣ガ答ヘヨウト云フ御話ガアッタノデアリマサガ、今日伺ヘマセウカ、如何デゴザイマセウカ

○委員長(公爵山縣有道君) 只今商工大臣ノ方ノ御都合ヲ聞イテ見マシテ……

○子爵大河内輝耕君 チョット速記ヲ止メテ下サイ

○委員長(公爵山縣有道君) 速記ヲ止メテ……

〔速記中止〕

○委員長(公爵山縣有道君) 速記ヲ……、本日ノ會議ハ此ノ程度デ止メタイト思ヒマサガ、御異議ハゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○委員長(公爵山縣有道君) 次會ハ三月二日午前十時カラ會議ヲ開キマス

午前十一時二十三分散會

出席者左ノ如シ

委員長 公爵山縣 有道君

副委員長 子爵高橋 是賢君

委員

侯爵淺野 長之君

子爵大河内輝耕君

男爵今園 國貞君

男爵松尾 義夫君

男爵長 基連君

土方 久徵君

内藤 久寛君

政府委員

外務省文化事業部長 岡田 兼一君

大藏政務次官 太田 正孝君

大藏省主計局長 谷口 恒二君

大藏省理財局長 關原 忠三君

大藏書記官 入江 昂君

同 植木庚子郎君

朝鮮總督府鐵道局長 吉田 浩君

江口 定條君

名取 忠愛君

三橋 彌君

水野甚次郎君

第四部第七類 昭和十三年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案特別委員會議事速記録第三號 昭和十三年二月二十四日

貴族院 九

昭和十三年二月二十四日印刷

昭和十三年二月二十五日發行

貴族院事務局

印刷者 内閣印刷局